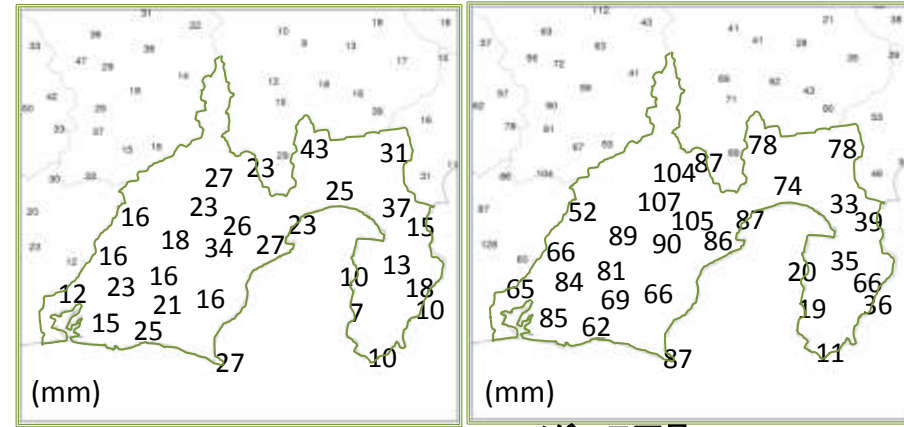


1999年 6月29日～30日 日本海低気圧

1. 気象経過

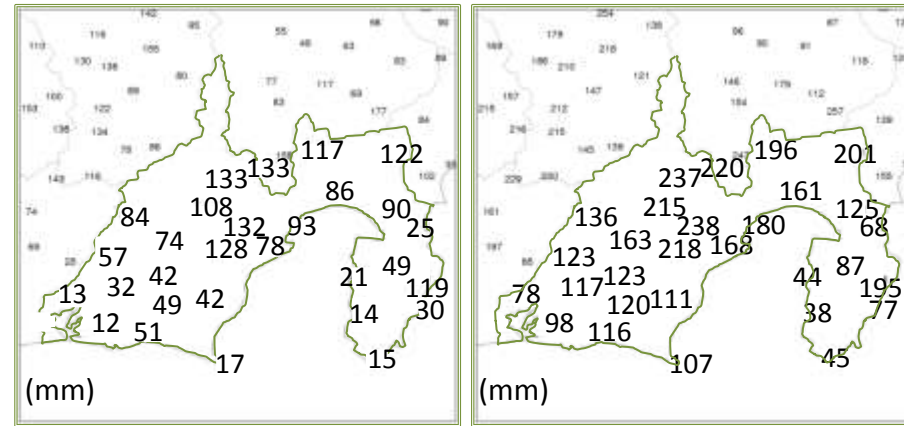
29日には、日本海に低気圧があって北東進していた。低気圧は閉塞過程にあり、30日3時には、中心が山陰沖東部、閉塞点は岐阜県付近にあった。一方千島近海にある高気圧によって、29日夜遅くには関東地方から北東風が吹いていた。閉塞点からのびる温暖前線は、未明から明け方にかけて県内を北上し、沿岸部から南寄りの風に変わった。浜松(防衛省)高度1500m付近では、29日21時南風、風速17m/s、30日9時南西風、風速19m/sと風が強く、県内全域に暖かく湿った気塊が流入し、山地中心に雨が続いた。寒冷前線近傍の積乱雲が南西－北東の線状分布となって東進した。富士山南東では、時折雨雲がかかり激しい雨となった。

4. アメダス雨量分布図



アメダス1時間雨量(正時毎)
6月29日～30日における最大値

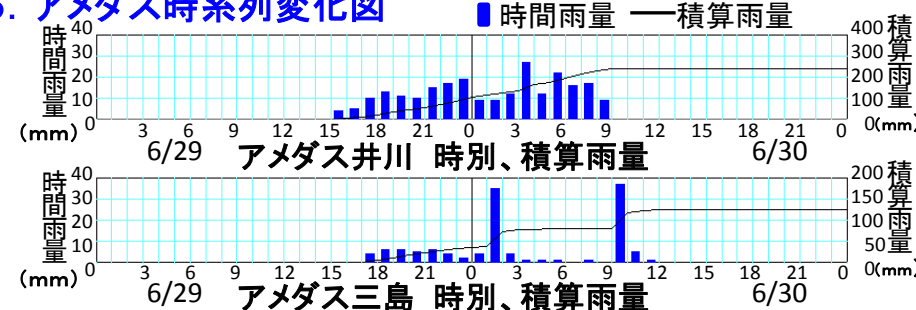
アメダス日雨量
6月29日



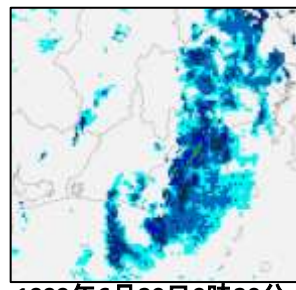
アメダス日雨量
6月30日

アメダス 3日間雨量
6月28日～30日

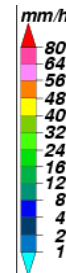
5. アメダス時系列変化図



1999年6月30日9時 地上天気図



1999年6月30日9時30分
気象レーダー



2. 大雨の原因、特徴

下層の風が強い場合、雨は山地主体となる。今回も概ねそのような状況となったが、寒冷前線近傍は、短時間強雨に注意が必要である。特に線状分布となった場合、分布の方向と進行方向が重なった地域では、雨雲がかかり続けることから、その動向に注意が必要である。さらに、閉塞点が静岡県近傍を通過する場合は、非常に激しい雨となる場合があり、警戒が必要である。

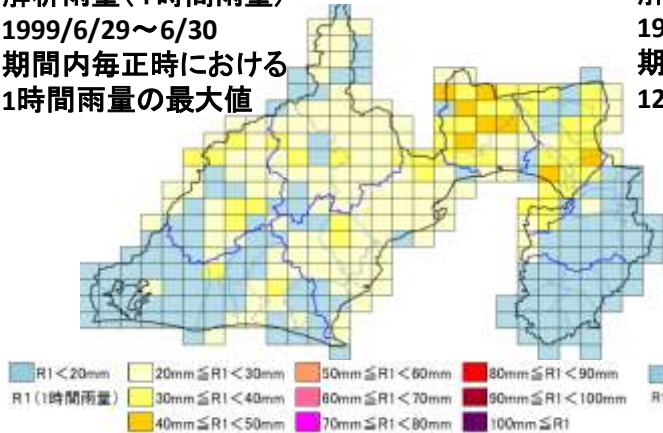
3. 被害概要

	床上 浸水 (棟)	床下 浸水 (棟)	全壊 (棟)	半壊 (棟)	一部 損壊 (棟)	死者 数 (人)	重傷 者 (人)	軽傷 者 (人)	避難 者 (人)	道路 閉鎖 (箇所)	橋り ょう 閉鎖 (箇所)	河川 閉鎖 (箇所)	臨時 交通 規制 (箇所)	鉄道 不通 (箇所)
全県	2	33	0	0	12	0	0	0	3	32	0	63	1	0
中部	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
西部	0	1	0	0	5	0	0	0	-	-	-	-	-	-
東部	2	32	0	0	7	0	0	0	-	-	-	-	-	-
伊豆	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-

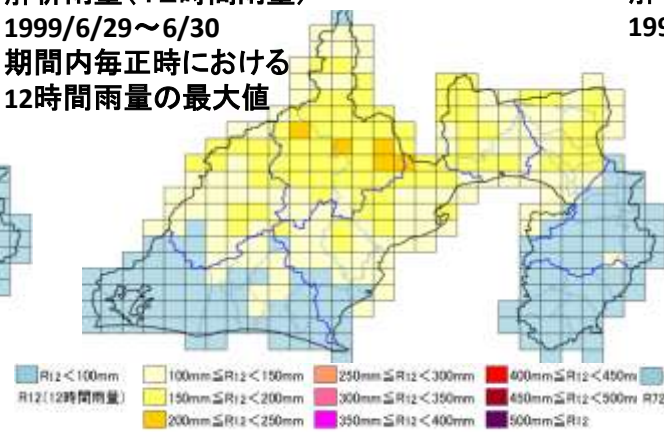
被害数は、静岡県 平成11年における災害の状況による

6. 解析雨量分布図

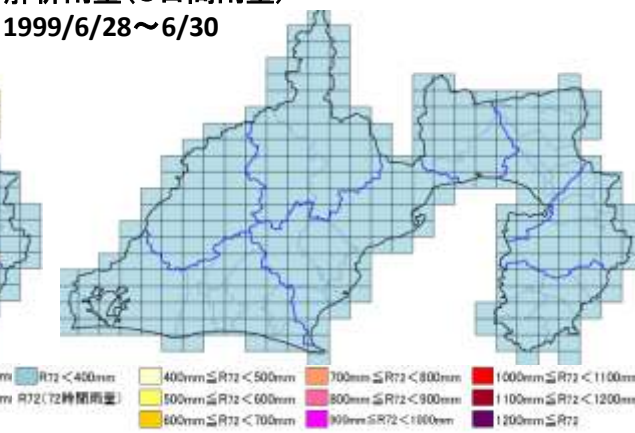
解析雨量(1時間雨量)
1999/6/29~6/30
期間内毎正時における
1時間雨量の最大値



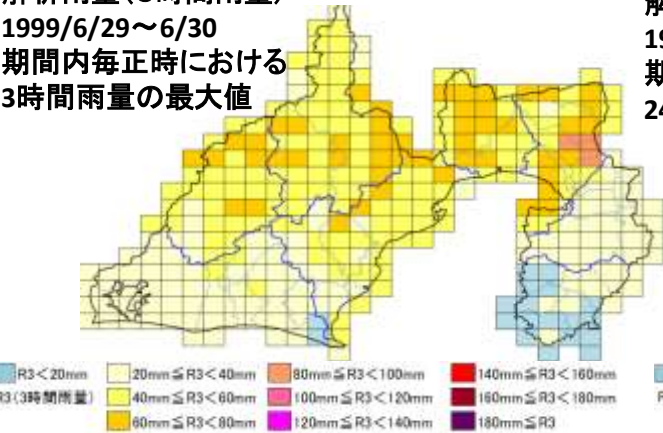
解析雨量(12時間雨量)
1999/6/29~6/30
期間内毎正時における
12時間雨量の最大値



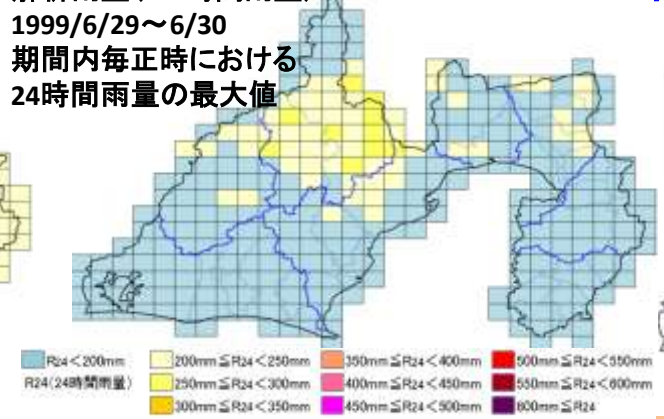
解析雨量(3日間雨量)
1999/6/28~6/30



解析雨量(3時間雨量)
1999/6/29~6/30
期間内毎正時における
3時間雨量の最大値



解析雨量(24時間雨量)
1999/6/29~6/30
期間内毎正時における
24時間雨量の最大値

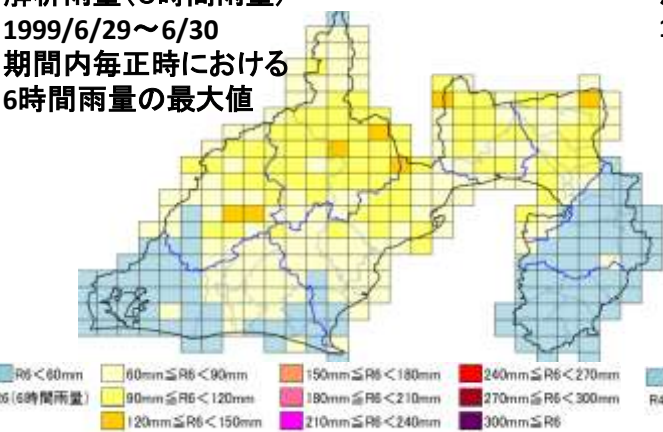


7. 床上、床下浸水被害分布図 (市町毎)

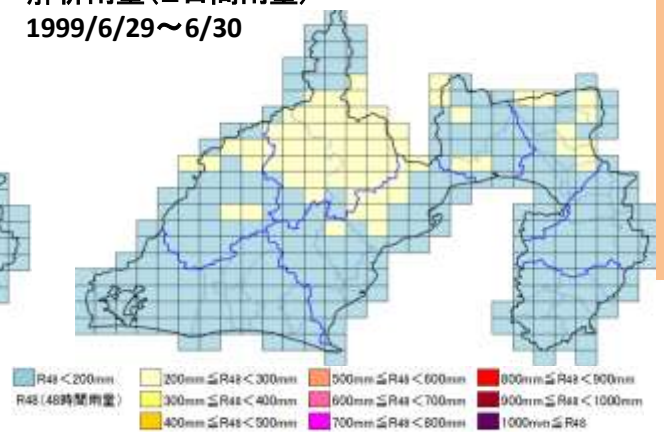


被害数は、静岡県 平成11年における災害の状況による

解析雨量(6時間雨量)
1999/6/29~6/30
期間内毎正時における
6時間雨量の最大値



解析雨量(2日間雨量)
1999/6/29~6/30



解析雨量と浸水害分布図からわかる大雨の特徴

1時間雨量としては、激しい雨が山地主体に発生した程度であったが、3時間雨量では、富士山南東を中心に、局地的に多くなっており、浸水害が発生している。